

「ふくしまから はじめよう。『食』と『ふるさと』新生運動」 会津地方かわら版

会津地方推進本部(福島県会津農林事務所)

平成30年5月9日 (水)発行

目次

- 1 会津地方推進本部長のあいさつ
- 2 頑張る農林漁業者の取組紹介
- 3 会津農林事務所からのお知らせ
- 4 今後の行事(イベント)等



「ふくしまから はじめよう。『食』と『ふるさと』 新生運動」会津地方かわら版について

会津地方推進本部では、新生ふくしまの『食』と『ふるさと』の実現に向け、農林業者、県民、関係機関・団体が一体となり、様々な運動を展開しています。会津地方の農林業者の取組や、各部・所の取組、各種研修・イベント等の情報を発信するため、会津地方かわら版を発行しています。

会津地方推進本部長(会津農林事務所長)のあいさつ



福島県会津農林事務所
所長 野内 芳彦
「会津のアスパラをどうぞ!!」

平成29年4月1日より、会津地方推進本部長(福島県会津農林事務所長)をしております野内芳彦です。よろしくお願い申し上げます。

皆様には、日ごろより会津地方の農林業の振興と地域社会の発展に多大な御尽力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、県は、本県農業の経営基盤を強化するため、農地の利用集積や6次産業化の推進、さらに、農産物の安全を確保し、よりよい農業生産を実現するため生産工程管理の取り組みとして、第三者認証GAPの取得を推進しております。3月末現在の会津の取得は県全体の6割強となっており、今後も取得支援に力を入れてまいります。

さらに、「会津地域を世界農業遺産に」をスローガンに、会津地域17市町村が一体となって、雪国の自然と共生する会津の持続的農業システムを基軸に世界農業遺産認定を6月に申請

する予定です。そのため、本県農林水産業の要として、福島県全体の復興を牽引すべく、「福島復興は会津から」を合い言葉に、皆様方が一丸となって、さらなる米の品質管理はもとより、園芸農産物の振興や地域産業6次化の推進による会津ブランドの向上に「会津の誇り」をもって取組み、本県の復興と発展を会津から、新たな視点も加えながら引き続き発信していかなければならないと考えております。

また、6月10日には第69回全国植樹祭が南相馬市を会場に開催されます。会津でもPR会場として、会津総合運動公園において式典の放映やステージイベント等を同時に開催するので、皆様ぜひ会場にお越しください。

オール会津として一丸となって取り組んで参りますので、皆様方の一層の御協力と御支援をお願い申し上げます、御挨拶といたします。

頑張る農林漁業者の取組紹介

会津地域の農業分野で初となる「ふくしま県GAP(通称FGAP)」の 認証書交付式が開催されました



認証書を交付する野内所長(左)と
白井和人氏(右)

国のガイドラインに準拠した本県独自のGAP「FGAP」の制度が、昨年7月からスタートしましたが、このたび、会津地域の農業分野では第一号となる認証者が誕生し、3月23日、会津農林事務所 野内所長から認証を受けた白井和人さん(会津若松市)へ認証書が手渡されました。(会津地域でのFGAPの認証は、先に林業分野で認証されたキノコ農家の方を含め、今回の白井氏が2件目。)

今回、野菜(イチゴ)でFGAPの認証を受けた白井和人さんからは「販売促進に努めていきたい。」との抱負が述べられ、営農改善と風評払拭に向けた強い意欲が感じられました。

会津農林事務所では、販売促進を図るため、今後ともFGAPを含め「GLOBALG. A. P.」や「JGAP」などのGAPを力強く推進してまいります。

【会津農林事務所 農業振興普及部】

雪害からの復興に向け頑張っています

喜多方市塩川町では、チェリートマトの栽培が昭和53年頃から始まり、現在では面積、販売金額とも県内一の産地にまで発展しています。

しかし、昨年11月24日から25日にわたり会津地方を襲った大雪により、喜多方市塩川町を中心に多くのハウスが倒壊しました。被害が非常に大きく、今シーズン無事に作付け出来るか大きな問題でした。

このため、チェリートマトの生産を安心して再開できるよう、生産者をはじめ、JA、県、市町村、さらには他地域からのボランティアの協力を得ながら、倒壊したハウスの撤去とともに、県農業等災害対策補助事業等を活用して施設の再建に取り組んできました。

その結果、ハウスの再建は4月上旬の定植までに何とかこぎ着けることが出来ました。

4・5月は寒気の影響も受けやすいため、定植後の温度管理が気になりますが、6月からは「美味しいチェリートマト」の出荷が始まります。

是非御賞味ください。



再建されたハウスでの定植作業

【喜多方農業普及所】

会津農林事務所からのお知らせ



○ JA会津よつばかすみ草部会の平成29年度通常総会が開催されました

JA会津よつばかすみ草部会の平成29年度通常総会が4月10日(火)、昭和村長や柳津町長はじめ多くの部会員が出席し、昭和村のしらかば会館で開催されました。

平成29年度は、販売額が4億1千万円と部会設立以来初めて4億円を突破しました。また、部会内に染め班が創設され、染色加工品の出荷本数が約27万本と前年より8万本増加して市場評価を高めました。さらには、事前予約販売率の高さが評価され、「FAJ・オブザイヤー・2017」(東京都中央卸売市場大田市場の卸売会社、株式会社フラワーオークションジャパンの主催)の優秀賞を受賞するなど、多くの実績が報告されました。

平成30年度は、好調な実績を背景に9名の新規加入者があり、部会員は77名となりました。また、「販売額5億円」を目指したい旨のあいさつや祝辞があり、関係者の産地発展に対する高い意欲が感じられました。



【会津坂下農業普及所】

○ 復興再生基盤整備事業「新屋敷新田地区」安全祈願祭・起工式

平成29年度に採択された復興再生基盤整備事業「新屋敷新田地区」の安全祈願祭及び起工式が、平成30年4月13日に会津美里町新屋敷地内において、地元関係者、地元選出議員、会津農林事務所長、工事関係者など、約30名が出席し、執り行われました。

本地区の総事業費は4億6千万円で、平成32年度までの4年間で28haを整備する予定であり、ほ場の大区画化や道水路の整備によって、効果的な営農が可能となることに併せ、経営体育成促進事業や農地中間管理事業の活用により、農地の集団化を促進することで農業経営の安定化が図られることとなります。



【会津農林事務所 農村整備部】

○ 農家民泊交流会を開催しました

平成30年2月2日、「道の駅あいづ」において、農家民宿モニターツアー参加者と受け入れオーナーさん(金山町、柳津町)による農家民宿交流会を開催しました。交流会には株式会社農協観光の齋藤充利さんと、一般財団法人 都市農山漁村交流活性化機構の花垣紀之さんをお招きし、齋藤さんには地域資源の魅力を引き出す農泊についてご講演を、花垣さんには「農泊体験プログラムの充実」をテーマにツアー参加者とオーナーさんの意見交換会をコーディネートしていただきました。参加者からは、地域の諸課題について自分なりの解決案を持つことができたことや、オーナーさんからはより多くの方に来てもらいたいと思ったなどの感想があり、お互いの交流を深めていました。



【会津農林事務所 企画部】

○ 三ノ倉高原の菜の花畑へようこそ

喜多方市では、「花」をテーマとした「まちづくり」を進めており、その一環として三ノ倉高原を春は「菜の花」、夏は「ひまわり」の花で彩る花畑事業に取り組んでいます。

今年もまもなく、会津盆地を一望できる 8.35ha の高原に、約 350 万本の菜の花が咲き乱れる天空の花畑が広がります。

また、例年、5月中旬から6月上旬に見頃を迎えることから、この時期に菜の花畑ウォークラリーや菜の花畑ライトアップ等の催しが行われるほか、敷地内の山小屋からでは地元産農産物や加工品の販売、さらにはこの時期限定のメニューも味わうことができます。

是非、雄大な景色を楽しみにお出かけください。

菜の花の開花状況やイベントのスケジュール等については、喜多方市役所ホームページ (<http://www.city.kitakata.fukushima.jp>) で御確認ください。



三ノ倉高原
からの眺望

【喜多方農業普及所】

今後の行事(イベント)



○「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン

県産農林水産物の消費拡大と地産地消の推進を目的にキャンペーンを実施します。たくさんの方のご来場をお待ちしています。

日 時： 5月12日(土) 11:00～ 試食がなくなり次第終了

場 所： 道の駅あいづ 湯川・会津坂下 人のひろば
湯川村大字佐野目字五丁目78-1

内 容： アスパラガス料理の試食(先着250名様)
アンケート回答者への6次化商品等プレゼント
(先着200名様)



2018年5月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

○ 奥会津いいもの物産フェア【春の市】

奥会津の特産品の知名度の向上による販売促進につなげるため、奥会津5町村の産品を集めた物産フェアを開催いたします。奥会津地域の豊かな自然に恵まれた、地元ならではの魅力的な産品をぜひご覧ください。

日 時： 5月25日(金)、26(土)、27(日) 10:00～19:00

場 所： イオン福島店
(福島市南矢野目字西荒田50-17)

内 容： 奥会津の加工品・山菜などの試食、販売
山ブドウ細工実演販売、只見線沿線クイズ、抽選会など



○ 全国植樹祭PRイベント開催

本年、6月10日(日)に、国土緑化運動の中心的行事である「第69回全国植樹祭」が、「育てよう 希望の森を いのちの森を」をテーマに、南相馬市において開催されます。大災害から再生した海岸防災林を会場に、「ふくしまから発信する森林づくり」をコンセプトに、植樹活動による人と人とのつながり、ふるさとへの思い、未来への希望を県内外に発信する大会となります。

当日は、会津若松市の会津総合運動公園において、全国植樹祭PR会場を設け、式典の同時放映や会津若松市出身の民謡アイドル「永峯恵」さんのミニライブ、学校法人東明幼稚園とうみょう子ども園の「白虎隊剣舞」のステージイベントのほか、会津 17 市町村から特色のある出店等もあり、全国植樹祭の開催意義や豊かな森林づくりへの取り組みを広く伝えてまいります。

- 日 時： 6月10日(日) 10:30～16:00
 場 所： 会津総合運動公園
 (会津若松市門田町大字御山字村上164番地)
 内 容： 民謡「会津磐梯山」等ミニライブ(永峯恵)
 学校法人東明幼稚園 とうみょう子ども園(創作よさこい)
 磐梯明神太鼓、湯川薬師太鼓、田島太鼓「龍巳会」など



民謡アイドル「永峯恵」さん



学校法人東明幼稚園 とうみょう子ども園「白虎隊剣舞」

【会津農林事務所 森林林業部】

事務局では、「ふくしまから はじめよう。『食』と『ふるさと』新生運動」会津地方かわら版に掲載する情報を募集しております。掲載を希望する情報がありましたら、下記の【ご意見・お問い合わせ】の連絡先までご連絡ください。

○掲載内容

- ・「ふくしまから はじめよう。『食』と『ふるさと』新生運動」で展開している4つの運動(「食の安全・安心運動」、「生産再生運動」、「風評払拭・消費拡大運動」、「情報発信運動」)の取組について
- ・復旧・復興に関するトピックス、イベント情報、旬の話題、オススメ情報、その他広くお知らせしたい情報

【ご意見・お問い合わせ】

会津地方推進本部事務局
 (福島県会津農林事務所企画部地域農林企画課内)
 〒965-8501
 福島県会津若松市追手町7番5号(会津若松合同庁舎2階)
 TEL (0242)29-5369 FAX (0242)29-5389
 E-mail: kikaku.af04@pref.fukushima.lg.jp

